

2025年4月23日

## キヤノン電子株式会社

### 2025年12月期-第1四半期決算説明会 質疑応答まとめ

開催日時：2025年4月23日 15:45~16:25

---

#### Q1. 2025年1Qと前年同期の実勢為替レートを教えてください。

A1. 2025年1Qは151.64円/USD、160.33円/EUR、2024年1Qは149.30円/USD、159.95円/EURです。

---

#### Q2. 為替レートの変動による売上、利益影響はどの程度ですか。

A2. 年換算で、USDは1円あたり売上高200百万円、営業利益50百万円、EURは1円あたり売上高、営業利益共に14百万円の影響です。

---

#### Q3. 現時点で通期の業績予想に対する進捗率は想定通りですか。また製品ごとの進捗の差異はありますか。

A3. 第1四半期終了時点での売上高進捗は約23%であり、想定通りに進んでいます。製品ごとに見ても大きな遅れは発生していません。

---

#### Q4. 米国関税政策によってどのような影響を予測していますか。また、その予測は通期の業績予想に織り込まれていますか。

A4. 当社が直接米国へ出荷している製品はドキュメントスキャナー、モータです。また、カメラ部品、レーザースキャナー等は顧客の製品に組み込まれて米国へ出荷されます。これらの製品の割合は全体の25%程度を占めています。関税の状況は刻々と変化していますが、現時点では不確実性が高く、具体的な試算が難しい状況なため、米国の政策やメーカー等の動向を注視して対策をとっていきたいと考えます。また、コンシューマー製品の販売価格の決定は顧客に委ねられており、現時点での見通しは難しいと考えます。それらの対応等も注視していきます。

---

**Q5. レーザービームプリンターの最終的な販売先は米国が多いため、今回の米国関税政策の影響を強く受けると考えますが、対策としてアジアの他国から日本へ生産が移管される等、キヤノン電子への影響をどのように捉えていますか。**

A5. 関税リスク回避を目的としたグローバルな生産体制の再構築は当社にも影響を与えると考えますので、取引先の動向を注視していきます。

---

**Q6. 通期の業績予想の為替レートは前回予測の 150 円/USD から 142 円/USD と円高へ変更していますが、業績予想に変更がない事の原因を教えてください。**

A6. カメラ部品、プリンター部品等全体的に好調を維持しており、円高前提であっても達成できると見込んでいます。

---

**Q7. 前年同期と比較して持分法投資損失の増減を教えてください。また今期の想定も教えてください。**

A7. 損失は前期よりも減少しています。通期においても前期より減少する想定です。

---